

まれていることにも感謝しています。

←逆に課題に感じていることは？

僕たちは最期まで診させていただく!と心に決めていても、患者さんの容態が変わってご家族が混乱され、最終的に救急車を呼んで病院搬送されるケースが度々あることです。365日24時間体制とはいえ、ずっと患者さんの家で見守ってあげられるわけではありませんから、患者さんご家族の不安な気持ちも分かります。ただ、実は重篤な容態急変ではないことも少なくないので、在宅医と患者さんのコミュニケーションがより密になれば、病院への救急搬送を必要最小限に減らせるのではないかと考えています。

クリニックから病院へ働きかける地域連携パスを

←在宅医療と病院は今後どう連携すべきでしょうか？

例えば、ターミナル(終末期)の患者さんが緩和ケアに移行する切り替えタイミングでの連携ですね。病院でできる対処はやりつくしました、後は在宅でお願いしますとなってからでは遅いし、病院から患者さん・ご家族へのアナウンスも十分とは言えないのが現状です。

今はまだ通院治療できているけれど、数か月後には体力が落ちて難しくなる可能性が高い。そんな、できるだけ早い段階から在宅診療のドクターとの併診体制を整えて、病院とクリニックがシームレスに連携できるのがベストです。

←患者さんと家族にとっても理想的ですね。病院のドクター時代に、呼吸器の専門医として肺がん患者さんを近隣クリニックの先

生と併診する「地域医療連携クリティカルパス」を経験したことがあるので、逆アプローチでクリニックから病院へ働きかける地域連携パスも実現可能だと私は思っています。

例えば、がん末期の患者さんが抗がん剤治療等で病院通いをしている段階から併診に関わらせてもらい、副作用に応じた治療と心身のケアを僕たち地域のかかりつけ医が引き継ぎ、両方の医師がカルテを共有できるシステムを構築する。そして、患者さんのADL(日常生活動作)が落ちた場合は訪問診療で対応し、逆に白血球の数値が急激に落ちたら病院でフォローするなど、お互いの医師が確認・相談しながら、患者さんにとってベストの医療を模索する。「患者さんのために」を大前提に医療の仕組みと連携を考えるべきです。

患者と家族の意思決定をサポートするのも在宅医の役割

←患者さん・ご家族とのコミュニケーションで大切にされていることは何ですか？

近いうちに容態の変化が起こる可能性がある患者さんの場合は、往診を終えて帰る際に、必ずご家族へ病状のアナウンスメントをします。「もう数週間するとポータブルトイレに自力で移れなくなるでしょう」「ご家族のご助力を今まで以上に必要とします」「痛みを訴えたら、この薬を追加してください」など、できるだけ具体的にお話をします。患者さんの側で最期までお話をし、ご家族に、一番多くの情報を届けるべきだと僕は思うんです。

その上で、ご家族が「先生、覚悟を決めました!家族みんなで看取ります」とおっしゃってくれたときは、本当にもうドクター冥利に尽きますね。身震いするほどの感謝

と、この患者さんと家族を全身全霊でお支えしたい!という気持ちでいっぱいになります。

患者さんご家族が、きちんと知識を持って決断することが大事で、そのサポートができるのも在宅医療を担うドクターの役割の一つなのだと思最近、感じるようになりました。

←在宅医と患者さん、家族のような距離感なんですか

実は僕“おばあちゃん子”で、このクリニックがある八尾市は祖母の家があった懐かしい地域でもあるんです。僕が医師を目指したのも中学生の時に病気で亡くなった祖母に何もしてあげられなかった無力感がきっかけ。だから、在宅医として、あの頃の祖母と同じ年代の患者さんたちを通じて恩返しを叶えさせてもらっているような気持ちもあるのかも知れませんね。

在宅医療は挑戦したいことにスピーディにトライできる場

←在宅医療にこれから取り組もうとしている医師へ

「訪問診療では自分のやりたい医療ができない」と思い込んでいる病院ドクターがいたら、違う!と声を大にしたいですね。僕自身、病院で積み重ねた経験や技術で捨てたものは一切ありません。むしろ、在宅医療に携わって得られることの方が多いですし、挑戦したいことにスピード感をもってトライアルできる実践的な医療現場です。医師として誰かの役に立ちたい、自分の力を発揮したい!もっと患者さんに関わりたいという人は、ぜひ在宅医療の世界へ飛び込んでください。

取材先紹介

医療法人あおい会 あおいクリニック

所在地 大阪府八尾市高町2-43

連絡先 TEL 072-999-1616

FAX 072-999-1660

<http://aoiclinic-yao.com>

診療時間

診察時間：9:00～17:00

休診日：土曜・日曜(緊急の場合は随時受付いたします)

診療科目

総合内科・呼吸器内科・外科・緩和ケア・ターミナルケア

訪問エリア

八尾市、東大阪市、柏原市、平野区、東住吉区、藤井寺市

